

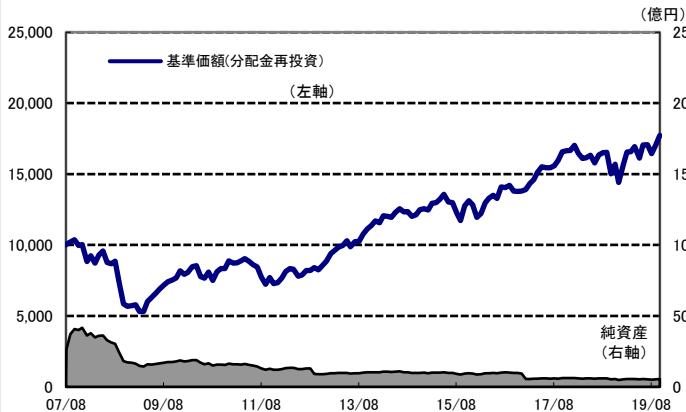


運用実績

2019年10月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 14,641円

※分配金控除後

純資産総額 5.6億円

- 信託設定日 2007年8月29日
- 信託期間 2022年9月16日まで
- 決算日 原則 3月、9月の各16日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	4.0%
3ヵ月	3.8%
6ヵ月	4.7%
1年	18.0%
3年	28.5%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 77.3%

設定来累計 2,550円

設定来=2007年8月29日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移

2019年9月	250円
2019年3月	250円
2018年9月	300円
2018年3月	300円
2017年9月	300円

資産内容

2019年10月31日 現在

国・地域別配分	
国・地域	純資産比
アメリカ	37.6%
スイス	11.3%
フランス	7.0%
イギリス	6.9%
中国	6.6%
その他の国・地域	26.8%
その他の資産	3.8%
合計(※)	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示しておりません。

通貨別配分	
通貨	実質通貨比率
日本・円	97.5%
その他の通貨	2.5%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

投資分野別配分	
投資分野	純資産比
水質・分析	35.3%
水処理	21.6%
建設・エンジニアリング関連	19.9%
施設運営	19.5%
その他の業種	0.0%
その他の資産	3.8%
合計	100.0%

・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2019年10月31日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
AGILENT TECHNOLOGIES INC	アメリカ	4.9%
SUEZ	フランス	4.2%
GUANGDONG INVESTMENT	中国	3.7%
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ	3.5%
PERKINELMER INC	アメリカ	3.2%
HAIER ELECTRONICS GROUP CO	中国	2.9%
DANAHER CORP	アメリカ	2.9%
WOONGJIN COWAY CO LTD	韓国	2.8%
VEOLIA ENVIRONNEMENT	フランス	2.8%
ECOLAB INC	アメリカ	2.8%
合計		33.8%

組入銘柄数: 63銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

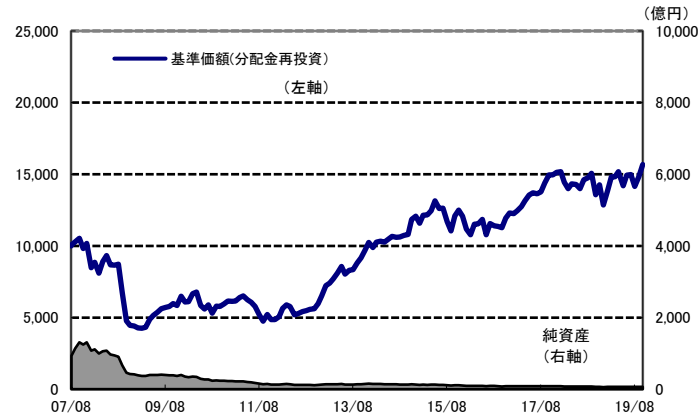


運用実績

2019年10月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=10,000として指数化:月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮しておりません。

基準価額※ 13,916円

※分配金控除後

純資産総額 67.0億円

- 信託設定日 2007年8月29日
- 信託期間 2022年9月16日まで
- 決算日 原則 3月、9月の各16日 (同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1ヵ月	5.7%
3ヵ月	4.6%
6ヵ月	3.3%
1年	15.5%
3年	39.1%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 56.8%

設定来累計 1,520円

設定来=2007年8月29日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

資産内容

2019年10月31日 現在

国・地域別配分		通貨別配分		投資分野別配分	
国・地域	純資産比	通貨	実質通貨比率	投資分野	純資産比
アメリカ	37.6%	アメリカ・ドル	44.4%	水質・分析	35.2%
スイス	11.2%	ユーロ	17.5%	水処理	21.6%
フランス	7.0%	スイス・フラン	9.5%	建設・エンジニアリング関連	19.9%
イギリス	6.9%	香港・ドル	8.4%	施設運営	19.4%
中国	6.6%	イギリス・ポンド	7.3%	その他の業種	0.0%
その他の国・地域	26.7%	その他の通貨	12.9%	その他の資産	3.9%
その他の資産	3.9%			合計	100.0%
合計(※)	100.0%				

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
※先物の建玉がある場合は合計欄を表示しておりません。

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

組入上位10銘柄

2019年10月31日 現在

銘柄	国・地域	純資産比
AGILENT TECHNOLOGIES INC	アメリカ	4.9%
SUEZ	フランス	4.2%
GUANGDONG INVESTMENT	中国	3.7%
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	アメリカ	3.5%
PERKINELMER INC	アメリカ	3.2%
HAIER ELECTRONICS GROUP CO	中国	2.9%
DANAHER CORP	アメリカ	2.9%
WOONGJIN COWAY CO LTD	韓国	2.8%
VEOLIA ENVIRONNEMENT	フランス	2.8%
ECOLAB INC	アメリカ	2.8%
合計		33.7%

組入銘柄数: 63銘柄

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身で判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員/一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



ファンドの特色

- 信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。
- 世界の水関連企業(水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業)の株式を実質的な主要投資対象*とします。
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村アクア マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
- 株式への投資にあたっては、高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ、バリュエーション、流動性等の観点から銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
- 株式の実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
- 「Aコース」は原則として為替ヘッジを行ない、「Bコース」は原則として為替ヘッジを行いません。
- ファンドは「野村アクア マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングができます。
- マザーファンドの運用にあたっては、ロベコSAM AGに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
- 原則、毎年3月および9月の16日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。
* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

各ファンドは、株式等を実質的な投資対象としますので、組入株式の価格下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 2022年9月16日まで(2007年8月29日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、3月および9月の16日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 1万円以上1口単位(当初元本1口=1円)または1万円以上1円単位
(ご購入コースには、分配金を受取る一般コースと、分配金が再投資される自動つぎ投資コースがあります。原則、ご購入後にご購入コースの変更はできません。)
※お取扱いコース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- スwitching 「Aコース」「Bコース」間でスイッチングが可能です。
※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、申込日当日が「チューリッヒの銀行」の休業日に該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社に確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.76%(税抜年1.60%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	1万円につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依りて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)

<受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社>

野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

<受託会社>

野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの指図等に関するご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



先月の投資環境

○世界の株式市場は、MSCI世界株式指数(現地通貨、配当込みベース)[※]で、2.52%の上昇となりました。

○米国株式市場は上旬、9月の米ISM製造業景気指数が市場予想に反して一段と低下したことなどから米景気の先行きへの懸念が強まり、下落して始まりました。しかし中旬には、米中貿易協議で部分合意に達したことや、米企業の7-9月期決算が堅調な滑り出しとなったことなどを背景に持ち直しました。下旬に入っても、米中貿易交渉の進展期待や市場予想以上の米企業決算などを受け上昇基調となり、月間では上昇となりました。

○先月の水関連株市場は、米中貿易摩擦問題の緩和や市場予想以上の米企業決算を受け、資本財・サービス関連銘柄の多い「建設・エンジニアリング関連」や「水処理」の上昇率が相対的に大きくなった一方、公益事業銘柄の多い「施設運営」の上昇は限定的なものとなりました。

[※]MSCI世界株式指数、MSCI USA指数、MSCIヨーロッパ指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)は、Aコースは3.96%の上昇、Bコースは5.68%の上昇となりました。

○株価が上昇した主な銘柄は、中国からの売上比率が高いカントン・インベストメントやハイアール・エレクトロニクス・グループなどでした。一方で、株価が下落した主な銘柄は、チリの飲料水の販売・下水処理サービス会社などでした。

○主な売買では、英国の公益事業会社などの株式を買い付けました。また、スウェーデンの農業用機械会社などの株式を買い増した一方、米国の灌漑用製品などを製造・販売する会社などの株式を一部売却しました。

今後の運用方針(2019年10月31日現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

当面の運用方針は次の通りです。

○世界の水関連企業(水資源に関わる技術、製品およびサービスの提供等の事業を行なう企業)の株式を実質的な主要投資対象とします。高い成長が期待される水に関する投資分野に沿った事業を行なう企業の中から、ボトムアップでの調査・分析により、サステナビリティ、バリュエーション(投資価値評価)、流動性等の観点から銘柄を選定し、ポートフォリオを構築していきます。なお、サステナビリティとは、持続的な成長・発展を意味し、当ファンドにおいては、社会全体の持続的な成長・発展への寄与を経済的側面、環境的側面、社会的側面の観点から評価します。

○分野別では、世界各国で上・下水道分野の水質規制の厳格化が進んでいることから、分析機器メーカー、特に、食品および環境検査事業の成長が見込める銘柄について強気の見通しを持っています。また、新興国を中心に新しいインフラが建設され、一部先進国でもインフラの老朽化が進んでいることから、建設・エンジニアリング関連にも注目しております。例えば、中国企業や中国の第13次5ヵ年計画による水関連投資の恩恵が期待される欧州企業などが注目されます。水処理分野では、引き続き、世界的な淡水化や水資源リサイクル事業の進展などに期待しております。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



組入上位10銘柄の解説

2019年10月31日現在

	銘柄	投資分野	組入銘柄解説
1	AGILENT TECHNOLOGIES INC アジレント・テクノロジー	水質・分析	電子計測機器メーカー。通信、電子、ライフ・サイエンス、化学分析産業向けに中核的なバイオ分析と電子計測のソリューションを提供する。電子計測器、バイオ分析計測器、半導体およびボードテストなどの測定器を製造する。
2	SUEZ スエズ	施設運営	水関連サービス会社。移動式飲料水供給機器とサービスを提供する。飲料水の回収、浄水処理、配水も手掛ける。都市および産業廃棄物の回収、リサイクル、有効物抽出、処理、破棄などのサービスにも従事する。
3	GUANGDONG INVESTMENT カントン・インベストメント	施設運営	子会社を通じ、水道、発電、配電、インフラ整備などの事業に従事。不動産物件への投資、百貨店の経営、金融サービス事業も手掛ける。
4	THERMO FISHER SCIENTIFIC INC サーモ・フィッシャー・サイエンティフィック	水質・分析	科学関連製品メーカー。科学機器、消耗品、および化学品を製造する。製品には、分析機器、検査機器、ソフトウェア、サービス、消耗品、試薬、化学品、関連用品などがある。製薬会社、バイオテクノロジー会社、病院、臨床検査研究所、大学、研究機関、および政府機関に製品を提供する。
5	PERKINELMER INC パーキンエルマー	水質・分析	テクノロジー、サービス、ソリューション供給会社。診断、リサーチ、環境、商工業、研究所などの市場を対象とする。製品は遺伝子走査、薬物発見、オプトエレクトロニクス用の機器をはじめ、分析器具、画像探知システム、流体密閉製品など。
6	HAIER ELECTRONICS GROUP CO ハイアール・エレクトロニクス・グループ	水質・分析	電機メーカー。子会社とともに、中国で主に洗濯機や給湯器の研究、開発、製造、販売に従事する。冷蔵庫、テレビ、エアコンなどその他の家電販売サービス網も展開。
7	DANAHER CORP ダナハー	水質・分析	専門器具メーカー。試験、計測、環境、生命科学、歯科、および工業技術などの分野で使用する専門・医療・商工業用器具を設計・製造・販売する。
8	WOONGJIN COWAY CO LTD ウンジンコーウェイ	水質・分析	水処理システムメーカー。浄水器、空気清浄機、硬水軟化装置などの環境関連製品の開発、製造、保守、販売に従事。水質検査サービスも提供。
9	VEOLIA ENVIRONNEMENT ヴェオリア・エンバイロメント	施設運営	公益・公共輸送事業会社。飲料水供給、廃棄物処理、冷暖房システム管理、鉄道・バス旅客輸送システム管理を手掛ける。
10	ECOLAB INC エコラボ	水質・分析	水テクノロジーとサービス提供会社。食品サービス、食品加工、ホスピタリティ、ヘルスケア、工業、石油・ガス市場の顧客を対象として、水、衛生、エネルギーのテクノロジーとサービスを提供。水処理、清掃・消毒用ソリューション、害虫駆除、キッチン修理・メンテナンスなどのサービスを手掛ける。

(出所)「組入銘柄解説」は、Bloombergの情報提供に基づき野村アセットマネジメントが作成しています。
(注)当資料はファンドの上位組入銘柄の参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

野村アクア投資 Aコース／Bコース

お申込みは

金融商品取引業者等の名称		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。